

おばあちゃんへ

ラジオネーム：junon

おばあちゃんのおにぎりが食べたいな。

毎朝、おにぎりを作ってくれたおばあちゃん。

朝起きて、食卓に向かうと、

綺麗な白い三角が並んでいたね。

食欲がない朝も、それを見ると不思議とお腹がすいて、

一日の活力が変わるんだ。

私にとっては、どんな栄養剤よりも、おばあちゃんのおにぎりが元気の源だった。

おにぎりの中身は決まって鮭。それもちょっと塩辛い。

「おばあちゃん、塩が濃いよ」と思ったこともあったけれど、不思議と癖になる味だった。

余ったおにぎりは、私のおやつに。学校に持っていく。

「可愛い容器に入れてよ」と頼んだこともあったね。

でもフリップで包み、おばあちゃんのおいがする風呂敷でくるんだおにぎりが好きだった。

月日は流れ、私も社会人になりました。

最近はずいぶん、「コンビニエンスストアのおにぎりばい

最近はずいぶん、「コンビニエンスストアのおにぎりばい

最近はずいぶん、「コンビニエンスストアのおにぎりばい

最近はずいぶん、「コンビニエンスストアのおにぎりばい

最近はずいぶん、「コンビニエンスストアのおにぎりばい

かり食べる日々。そのおにぎりだって、おいしいんだ、形はキレイだし、色々な具があるし。

でも、おばあちゃんのおにぎりには敵わない。

おばあちゃんの鮭の味付け、おばあちゃんのおいしい風呂敷、そしておばあちゃんの手サイズのおにぎり。

仕事で失敗ばかりで落ち込んでいるのは、

きっと、おばあちゃんのおにぎりが食べられないからだね。

何度も再現しようと試みてみたけど、どうしても無理だった。

ねえ、おばあちゃん？

一回でいいんだ、あと一回でいいから、あの鮭おにぎりを食べたいな。朝起きたら食卓に並んでいないだろうかと妄想するくらいに恋しい。

また、会ったら絶対作ってね？

それまで私、頑張るから。

＜ DJおにぎりMCいほと ＞

おにぎりはお守り ＜